

■ パターン 1：3 か月程度（5 名）

Aさん（18歳 男性）

まずはインターンがどんなものか知りたくて、学期中に無理なく試せる 3 か月を目安に参加しました。

Bさん（19歳 女性）

授業やサークルとの両立を考えると、最初は短めで様子を見るのが現実的だと思いました。

Cさん（20歳 男性）

「合わなかつたらどうしよう」という不安があり、区切りのいい 3 か月なら始めやすかったです。

Dさん（21歳 女性）

夏休みの期間を使って参加したため、自然と 3 か月程度になりました。

Gさん（20歳 女性）

学業優先にしたかったため、負担になりにくい 3 か月がちょうどよかったです。

■ パターン 2：6 か月程度（15 名）

Iさん（20歳 男性）

業務に慣れて成果を出すには、最低でも半年は必要だと感じたためです。

Jさん（21歳 女性）

3 か月では仕事を覚えるだけで終わってしまいそうで、少し長めの 6 か月を選びました。

Kさん（22歳 男性）

就活で話せる経験を作るには、ある程度継続する必要があると思いました。

Lさん（19歳 女性）

半年あれば、業務理解から改善提案まで経験できると考えました。

Mさん（21歳 男性）

企業側からも「まずは半年」を目安にと言われたのが理由です。

Nさん（20歳 女性）

短すぎず長すぎず、学業とも両立しやすい期間だと思いました。

Oさん（22歳 男性）

評価される成果を残すには、6か月程度が現実的だと感じました。

Pさん（19歳 男性）

インターン先のプロジェクトが半年単位だったため、自然とその期間になりました。

Qさん（21歳 女性）

成長を実感できるまで続けたいと思い、半年を一つの目標にしました。

Rさん（20歳 男性）

中だるみせず、集中力を保てる期間としてちょうど良かったです。

■ パターン3：1年以上（7名）

Sさん（22歳 女性）

業務が面白く、もっと深く関わりたいと思い、結果的に1年以上続けました。

Tさん（21歳 男性）

長く続けることで責任ある仕事をさせてもらえるようになりました。

Vさん（19歳 男性）

インターン先での経験が就活に直結すると感じ、腰を据えて取り組みました。

Wさん（22歳 男性）

長期間関わることで、社員に近い立場で仕事ができたのが良かったです。

Xさん（21歳 女性）

短期では得られない経験や信頼関係を築けたと思います。

Yさん（20歳 男性）

業務の難易度が徐々に上がり、成長を実感できたため続けました。

Zさん（22歳 男性）

1年以上続けたことで、ガクチカとして自信を持って話せる経験になりました。

■ その他（3名）

ABさん（21歳 女性）

留学準備と重なり、予定より早く終了することになりました。

ACさん（19歳 男性）

家庭の事情で引っ越しことになり、期間を決めずに途中で区切りました。

ADさん（20歳 女性）

複数のインターンを並行していたため、期間が固定されませんでした。